

甲状腺機能障害について

甲状腺は首の前にある重要な臓器です。はれると首が太くなって見える橋本病、目が大きくみえるバセドウ病、先天性のクッシング病、甲状腺がんなどが良く知られた病気です。甲状腺は体調を調整する重要な甲状腺ホルモンを生産し分泌しています。脳の深部にある視床下部と脳下垂体からのホルモンによって甲状腺の働きは調整されており、これらのどこかがおかしくなると甲状腺の働きも異常になることがあります。甲状腺機能障害とは甲状腺ホルモンが適切に分泌されないために様々な体調不良が起こる状態です。

甲状腺のホルモンが多すぎるのが甲状腺機能亢進症です。主な症状は手が震える、脈が速くなり動悸がする、汗が出やすい、体重が減る、いらいらし落ち着かない、疲れやすい、暑がり、排便回数が多い、筋力が低下し階段を上げるのがつらい、女性では生理の量が減る、男性に多い食後の脱力感などがあります。代表的な病気としては、首がはれて目がとび出すバセドウ病が有名であります。

逆にホルモンの分泌が足りない状態は甲状腺機能低下症であります。症状は冷え性や寒がり、いつも疲れている、体重が増える、顔や手足がはれぼったい、皮膚が乾燥する、髪の毛が抜ける、便秘、筋力低下、こむら返り、月経過多などがあります。とくに物覚え

冷え性や体調不良で漢方薬を求めて受診される患者様の中には甲状腺機能障害の場合もあります。



院長 前田 敏男
(内科・リハビリ科・放射線科)

が悪くなり注意力も低下し、かすれた低い声になり、活気がなくなり、老化が進んだ状態や認知症と誤解されることもあります。原因はいろいろありますが、最も多いのは慢性甲状腺炎である橋本病です。

ホルモンの量が異常かどうかは血液検査で簡単にわかります。しかし一般の健康診断にはこれらの検査項目は入っていませんので、本人や医師がその気になって検査しないとわからないでみますこともあります。適切な治療をしないと心不全を起こすこともあります。

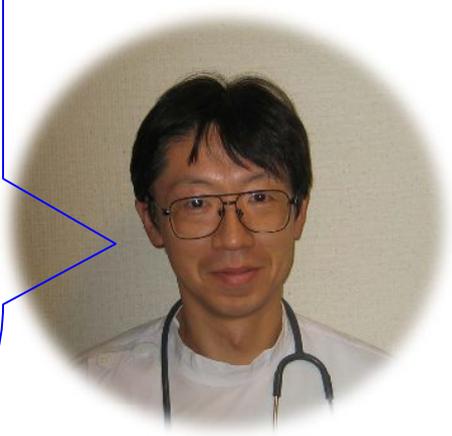
不定愁訴で漢方薬を求めて受診される患者様の中には甲状腺機能障害の場合もあります。治療としては主に薬を飲み続けることで改善します。心当たりのある方は主治医にご相談してください。

死生観とAED

我々は、心臓死を人間の死としてきましたが、脳死の出現で、その定義が拡大されています。もっとも、脳死は特別な医療環境でもたらされるものであり、通常は、心臓死が一般的でしょう。心停止は、死の前段階です。心停止は、脈が触れないことでわかりますが、厳密に言えば、心臓は電氣的に活動し、わずかに収縮している場合もあります。前者は、心電図をとることでわかり、後者は、超音波検査で、直接心臓の動きを見ることで確認できます。心停止は、電氣的に反応がなく、心臓も収縮していません。

最近、巷で、AEDを目にする機会が多くなりました。いわゆる除細動器で、心室細動という死に至る不整脈を、治療してくれる可能性のある機械です。対象者は、心停止者で、パットを胸に取り付けることで、心電図をとってくれ、音声でショックを行うべきかどうかを教えてください。電氣的に無反応な心静止の方と判断されれば、ショックは行われません。

心停止の原因はいろいろで、もともと元気な人であれば、心臓の血管である冠動脈が閉塞した可能性があります。また、高齢で、入院を繰り返す人であれば、老衰の可能性もあります。老衰は、各種臓器の寿命で、臓器間の連絡も維持困難な状態です。たとえばここで、一つの臓器を取り替えて可能であっても、その生命体は生存し得ません。しかしながら、心臓にわずかに電気が流れていた場合、ショックの対象になります。



診療部長 木村 康宏
(内科・循環器科)

あなたの人生をお話ください。
それが我々をも成長させてくれます。
訪問診察、看護も行っています。

こう考えてみると、日頃より、その人の家庭環境、病気、人生観をよく知っているかかりつけ医は重要ですよ。『看取り』を心停止後の選択肢として選べるのは、かかりつけ医以外できませんから。

AEDとは？
Automated-External-Defibrillator (自動体外式除細動器)の略で、電源を入れると音声で操作が指示され、救助者がそれに従って除細動 (= 傷病者の心臓に電気ショックを与えること)を行う装置です。

AEDは自動的に心電図を診断し、電気ショックを与える必要があるかどうか判断しますので、医学的な知識が少ない一般市民でも音声ガイドに沿った簡単な操作で救命処置ができます。



(フクダ電子HPより)

新型インフルエンザの感染防止のため、

次のことに注意しましょう！

日頃からの手洗い、うがいの励行が大切です。

流水・石鹸で15秒以上洗う。

①ブクブクうがい

②ゴロゴロうがい



咳やくしゃみが出る場合は、他人に感染させないように『咳エチケット』に気をつけましょう。

『咳エチケット』

- ・咳やくしゃみをする時は、ティッシュなどで口と鼻を押さえてみましょう。
- ・鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにふた付のゴミ箱に捨てましょう。
- ・他人に感染させないように正しくマスクを使用しましょう。

症状が出た場合は、マスクを着用し、外出の自粛をしましょう。

医療機関へ受診する場合は、事前に電話連絡を行い、マスクを着用し受診しましょう。

新型インフルエンザに感染しない・感染させないように注意しましょう。

映寿会在宅介護センターが移転しました

平成21年8月16日より映寿会在宅介護センターの事務所が「みらいのさと太陽1階」に移転しました。

新しい住所、電話番号、FAX番号は次のとおりです。

〒920-8201 金沢市鞍月東1-17

介護老人保健施設 みらいのさと太陽内

電話 076-237-2821

FAX 076-237-5831

医療安全管理研修会を開催

平成21年7月16日(木) 濱岸リハビリテーション部長による『高齢者の転倒』について平成21年8月20日(木) 竹中医事課主任による『リスクマネジメント』についての研修会が開催されました。



人が心身ともに健康で楽しく長生きできるよう手助けをする

1. 医療を受ける人々の権利の尊重
医療を受けるすべての人々の生命・尊厳・人権を尊重する
2. 質の高い医療の普及
西洋医学・東洋医学を結集し、科学的且つ質の高い医療の普及に努力する
3. 最善の治療へのたゆまぬ努力
常に医療の研鑽、向上に努め一人一人の個性を尊重した最善の治療を行う
4. 地域医療、福祉との連携
生活習慣病および高齢者医療に重点を置き、地域の医療福祉機関と連携する
5. 地域社会への貢献
社会的責任を自覚し、地域とそこに暮らす人々の幸福のために貢献する
6. 教育と研修の充実
医療に関する教育・研修を充実させ、職員が誇りと生きがいを持てる職場とする

総合的な健康づくりをお手伝い

医療法人 社団 映寿会みらい病院



平成21年 糖尿病教室予定

10月10日(土)	中止
11月14日(土)	午前10時30分～11時30分
12月12日(土)	午前10時30分～11時30分

* 場所/当院外来 サロン「メイ・キッス」



管理栄養士・
糖尿病療養指導士
西川 圭子

☆10月の糖尿病教室は都合により中止となります。

今年も10月24日(土)にバイキングを予定しています。毎年好評です。
自分にあった量を美味しく・楽しく選んでみましょう!

診療時間

月～金 ■午前9時～12時30分・午後2時～5時
(受付/午前8時45分～12時・午後1時45分～4時45分)
土 ■午前9時～午後3時
(受付/午前8時45分～午後2時45分)

診療科目

内科、神経内科、消化器内科、循環器内科、
呼吸器内科、糖尿病内科、漢方内科、リハビリテーション科、婦人科、皮膚科、泌尿器科、
アレルギー科、リウマチ科、放射線科

2009年10月発行 発行/医療法人社団映寿会みらい病院
〒920-8201
金沢市鞍月東1丁目9番地
TEL(076)237-8000 FAX(076)238-7624
ホームページ <http://www.eijukai.jp/>
映寿会みらい病院の情報が満載です。ぜひアクセスしてみてください。